



2018-2019年度 主題

国際会長：Sangbong Moon “Yes, We Can Change”
 「私たちは変えられる」
 アジア太平洋地域会長： “Courage to Challenges”
 田中 博之 「挑戦への勇氣」
 東日本区理事：宮内 友弥 「為せば、成る」
 湘南・沖縄部長：佐藤 節子 “No challenge, No fruit.”
 「心を元気に 絆を深め合える
 ワイズを目指そう！」
 クラブ会長：岡田 勝美 「楽しく活動し、仲間を増やしていこう！」



今月の聖句

神は愛です。愛にとどまる人は、
 神の内にとどまり、神もその人の
 内にとどまってください。
 Iヨハネ4.16

(教師の友、まねきのことばより)

2019年2月本例会

日時 2月22日(金) 18:30～
 場所 菊名“敦煌”
 司会 久保 受付 岡田M

～プログラム～

- 1)開会点鐘 会長
- 2)ワイズソング/ワイズの信条
- 3)今月の聖句・祈禱 鈴木S
- 4)協議・報告 会長
- 5)YMCA報告 山中館長
- 6)北YMCA交流会
 ・会長挨拶
 ・ゲスト・ビジター紹介 司会
 ・Happy Birthday
 山添訓さん
- 7)閉会点鐘 会長
- 8)懇親会

今後の予定

- ◇2/16-17 部長沖縄訪問
- ◇2/16(土) 4部合同EMC
シンポジウム
- ◇2/22(金) 本例会
北YMCA交流会
- ◇3/9・10 次期会長研修会
- ◇3/17(日) つるみクラブ
設立総会
- ◇3/22(金) 本例会

《巻頭メッセージ》

山添 訓

「人に寄り添う」

みなさん、こんにちは。
 いつも祈りの中に加えていただき、感謝
 いたします。
 ここ4年くらい、例会に出席できずにおり
 心苦しく思っております。

昨年、25年勤続表彰を受けること
 ができました。人生の半分以上、
 YMCAで働くことを許されたことを神様
 に感謝し、また家族、友人、働く仲間
 の支えがあって続けて来られたのだと思
 います。

この25年間を振り返ると時代の変化
 は目まぐるしく、IT化が進む中で人と人
 の関係が希薄になっていると言われてお
 ります。そんな時代の中で、私がYMCA
 で働き始めてから、これまで大切にしてい
 きたことがあります。それは、人とのコミュ
 ニケーションを取ることです。皆様から見
 たら、あまりそのようには見えないかも知
 れませんが、意外と人と話すのが得意
 ではなく、どんな会話をしたら良いのかな
 ど考えてしまったりします。初めて会う人
 と話す時は、結構、勇氣を持って話し
 をしています。こんな自分だからこそ、人
 とのコミュニケーションを大切にと

いないと、人と関わる
 ことに消極的になっ
 てしまうと考えており
 ます。

今、全国YMCAでブランディングを進
 めており、「みつかる。つながる。よく
 なる。」をブランドスローガンとしてい
 ます。このスローガンはYMCAという団
 体を良く言い表していると思います。
 自分の働きを振り返ると、YMCAの働
 きを通して多くのことに気づき、学びがあ
 り、多くの人とつながり、そのつながり
 の中で、自分はもちろん、つながった人た
 ちと一緒に良くなっていく経験をさせて
 られていると感じております。

まもなく生誕50周年を迎える人生で
 すが、イエス様が私たちに寄り添ってくだ
 さっているように、YMCAの働きを通し
 て、人に寄り添う働きができるようにして
 いきたいと思ひます。人に寄り添うことは
 難しいことだと思いますが、祈り、神様の
 声を聴きながらこれからも歩いていき
 たいと考える今日この頃です。

(横浜YMCA主事/横浜つづきクラブ)



(前月のデータ)

例会出席	14名	在籍会員数	17名	各種記録	前月	累計
メンバー	14名	月間出席数	14名	使用済み切手	0g	0g
ビジター	0名	メーキャップ	2名	スマイル	11,800円	45,146円
ゲスト	0名	月間出席率	94%			

《報告》

2019年1月度本例会報告

今城宏子

日時：2019.1.25（金） 18:30～20:00

会場：かけはし都筑

出席：今城T/H、岡崎、岡田K/M、久保、胡麻尻、杉本、鈴木K/S、辻Ts、福島、三木、横田（14名）

◇岡田勝美会長による開会点鐘に続きワイズソング・ワイズの信条を唱和。

◇鈴木Sワイズによる今月の聖句と祈祷。

◇会長挨拶

◇総会に先立ち、鈴木K会計2018年度後期収支見込についての報告があった。現在の見通しではクラブ財政は厳しく、次年度への繰越金が大幅に減少する模様。

◇**2018-19年度下期クラブ総会** 議長：岡田会長

*書記より、会員総数17名中14名出席で総会が成立する旨報告があった。

1) 次期（2019～2020年度）会長の件

今年度副会長の今城Tが予定通り就任することを承認した。

2)次期（2019～2020年度）副会長（次々期会長含み）その他の役員の内。

自薦・他薦者なく決定保留となった。今城次期会長に一任とし、3月に臨時総会を開き決定とする予定。

◇協議確認事項

1)国際選挙の投票：次期国際会長にD・レッドモンド氏（USA）、次期アジア太平洋地域会長にS・T・ルア氏

（シンガポール）に投票することを会長から提案、全員一致で承認した。

2)「善意銀行」H31年度第2回配分団体募集については見合わせることにした。次年度は「みんなの家」の活動について検討する。

3)2/11(月) 10時～14時開催のYMCA会員大会（とつかYMCA）「平和の作り方」平良愛香牧師 ではワイズブースの手伝いをするとし、クラブの行事写真、案内を持参する。

4)2/12（火）18時～20時（@田園都筑教会）の事務例会は、TOFを覚えて豚汁・おにぎりで行く。（16時半準備開始）。なお、この日はピンクシャツデーに合わせピンク系着用のことが伝えられた。なお、YMCAのピンクシャツ販売について、希望者はサイズを会長に報告。

5)使用済み切手の収集について。部国際・交流主査の今城Hワイズより協力依頼があった。

6)クラブ会計より東日本区各種献金について提案があり、提案通り承認した。

7)2月の本例会（2月22日）は恒例の北YMCAとの交流会として菊名「敦煌」にて行われる。出席予定者を確認した。

8)Happy Birthdayは1/1横田洋生さん（横田ワイズ夫人）、1/10 胡麻尻眞佐さんが該当、会長より記念品が贈られた。

9)岡田会長による閉会点鐘後、最寄りの「ガブリエル」にて懇親会を持った。

(完)

《特別報告》横浜市社協「感謝会」参加報告

去る2月2日に開催された、横浜市社会福祉協議会・障害者支援センター主催（横浜市健康福祉局後援）の「平成31年感謝の集い」にクラブの辻Tsuワイズと共に出席し、当クラブを含む45の団体・個人に対する感謝状の授与を受けました。我々に対する感謝状は、当クラブが行うグループホーム「すぷーん」での夕食の調理ボランティア活動に対するものです。これは「すぷーん」が開所した2012年の3月から始めたもので、現在、月2回（第1、第4月曜日）に女性チームと男性チームに分かれて行っているものです。今回は、「すぷーん」の推薦で感謝状を頂くことになりました。何時まで続くかわかりませんが、要請がある限り続けて参りたいと思っています。

(今城高之 記)



(写真) 感謝会で頂いた感謝状と「すぷーん」の入居者、スタッフの皆さんとの記念撮影。



《Y-Y's合同新年会報告》

お正月気分冷めやらぬ1月12日（土）、横浜中華街「廣東飯店」にて、横浜YMCA、湘南沖縄部合同新年会が開催されました。六十数名の参加者には東日本区現理事、直前理事、次期理事、アジア大洋地域会長などワイズの要人ならびに、日本YMCA同盟総主事、横浜YMCA総主事、湘南・沖縄部次期部長（森田ワイズ/沖縄クラブ）など大勢が参加して盛大に行われました。

開会礼拝の後、第2部、祝賀の式が、佐藤湘南・沖縄部長の開会点鐘により開会、ワイズソング、ワイズの信条を唱和した後、部長挨拶があり、更には来賓の挨拶が続いた。挨拶では、現在、湘南・沖縄部挙げて取り組まれている横浜つるみクラブ(仮称)設立、本年6月に東京で開催される東日本区大会ならびに7月仙台にて開催されるアジア・大洋州大会等が特に強調された。田中博之アジア・大洋州地域会長によると、同地域には現在14か国に220のクラブがあり、会員総数が3500名に上っているとのこと。その後、第3部の交流会に移り、加藤利栄ワイズ（とつかクラブ）が音頭を取られ乾杯を行い、中華料理を楽しんだ。食事中、様々なアピールが行われたが、なかでも、部エクステンション委員会辻委員長からは、つるみクラブ設立に向けての歩みが伝えられた。特に、今回は、スポンサークラブではなく、部がスポンサーとなる特殊なケースであることが強調された。

最後に全員でYMCAの歌を唱和し、遠路沖縄から参加した、森田幸二郎次期湘南・沖縄軸部の閉会点鐘にて閉会した。



(湘南・沖縄部 佐藤節部長と共に)



(合同新年会にて)

《3月本例会の卓話者ご紹介》

3月22日(金)に開催予定のクラブ本例会では、元東京大学教授・工学博士加藤孝久さんに卓話をお願いしています。

卓話の演題は、「表面、接触、摩擦」と伺っていますが、果たして、どんなお話が伺えるか興味津々です。

先生は、当クラブ鈴木茂ワイズのお知り合いで、鈴木ワイズより先生をお願いしていただきました。

手元のプロフィールによりますと、ご専門は“トライボロジー”とありますが、誠に残念ながら、工学士の肩書を持つ筆者にも全く思い当たる節がありません。さてさてどんなお話が伺えるのか本当に楽しみです。

<研究分野>

表面科学とトライボロジーの研究室（Surface Science and Tribology Laboratory, SSTL）では、物理的・化学的手段を用いて、表面の機能を最大限引き出すことを目標としている。例えば、固体表面の形状・形態・強度・エネルギー・吸着膜を制御することによって、環境負荷の低い表面を作り出すための研究開発を行っている。

<研究テーマ>

1. ダイヤモンドライクカーボンコーティングによる超低摩擦表面の開発
2. 電子ビーム照射による金属ナノ粒子の表面配列の研究
3. 水素雰囲気での超潤滑性の発現の研究
4. 自己組織化単分子膜による表面エネルギー制御の開発
5. 液体ナノ薄膜のレオロジー特性評価に関する研究



《加藤孝久さん略歴》

1976年 東京大学工学部機械工学科卒業

1982年 東京大学大学院修了、工学博士

1983年 東京大学工学部助教授

1999年 工業技術院機械研究所主任研究員

2001年 産業技術総合研究所統括研究員

2005年 東京大学教授

《特別報告》

横浜YMCA会員大会参加報告

鈴木 茂

日時 : 2019年2月11日 (月・建国記念の日)
 10:00~14:00
 会場 : 湘南とつかYMCA
 参加者 : 今城H,T、岡田K,M、久保、鈴木K,S、辻T、横田 (全体では約280名)
 開会礼拝・平和メッセージ : 平良愛香牧師 (日本キリスト教団・川和教会)

小雪交じりの寒い1日であったが、恒例の横浜YMCA会員大会が開催され、つづきクラブからは9名が参加した。この会員大会は横浜YMCAに連なる維持会員、さらにはこれから維持会員になってほしい方がたも含めた相互の親睦と交流と学びの場として、講演会やYMCA諸活動の紹介、報告発表会が行なわれてきた。

横浜YMCA会員大会はさらに、毎年2月11日の建国記念の日に開催されることに因んで、共に平和を考え、平和への願いを共有する主旨を織り込んだプログラムが計画されてきた。そのプログラムの柱として今回は、歌や踊りや紙芝居などを取り入れたユニークな礼拝やお話で知られている日本キリスト教団・川和教会の平良愛香牧師が招かれ、“開会礼拝”の司式と“平和のメッセージ”を担当された。

開会礼拝は、平良牧師ご自身の作詞・作曲であり、且つご自身のオートハープ伴奏による「戦争はイヤだ、ハレルヤ」という賛美に始まり、参加者全員に配布された「しおり」に記載されていたマタイ5:9とヨハネ16:33の平和に関する聖書箇所が朗読された後、「おじいさんのできること」という紙芝居を通して、平和を祈り願うお話があった。

次の“平和のメッセージ”のプログラムでは、まず広島ピースキャンプに参加した子どもたち(YMCAアフタースクールの生徒)から、原爆資料館等を見学して体得した平和への思いについての報告があった。次いで平良牧師より、「平和のつくり方」と題して、サンシンを演奏しながら沖縄の歌の紹介と、旧約聖書の「哀歌」に基づくご自分の名前の由来や辺野古基地建設に反対する立場からのお話があった。

また「終わりのない物語」というゲームでは、16人ごとのグループ分けによって、“暴力の連鎖を断ち切るにはどうしたらよいか”を話し合い、発表するというワークショップがあった。当然ながら極めて難しい問いかけであったが、なかなか示唆に富む提案発表もあり、平和について考える良い機会が与えられた。最後に、「私たちは歩き出す」という派遣のダンスによって、“平和のメッセージ”は締めくくられた。

昼食・休憩では、“わかちあいの食事”として、横浜YMCAワークサポートセンターの「アンジュ」からパンが、「レザン」から缶のお茶、ジュースが提供された。

午後のプログラムでは、“平和とつながるアクティビティ”とし

て、ホールでの歩行姿勢測定・健康チェックのコーナーや2階教室での『こどもの心は遊びで育つ』、『オリンピックの光と影から考えよう』、『認知症サポーター養成講座』、『ワイズメンズクラブとは?』、『こんなときどうする』、『異文化理解』、『平和って!』といったブースが開設され、それぞれ盛況であった。

以上のほか今回の会員大会では、横浜YMCAが本格的に取り組もうとしている「持続可能な開発目標(SDGs)」に対する意識、理解を深める趣旨から、ロビーに掲示されたSDGsのパネルに、参加者がSDGsの17のラベルから「自分で取り組みたいこと」、「YMCAに期待したいこと」の二つに分けて、それぞれ一人3枚まで選んで貼るといったコーナーが設けられ、SDGsに対する関心を深める試みも行なわれた。



上段左: 平良先生による紙芝居。登場人物約170名。

上段右: 平良先生の三線と歌の指導

2段目: YMCAの活動にSDGs導入

3段目: 当日設けられた、Y'sの発信基地



《2019年2月事務例会報告》

日時：2月12日(火) 18:00～20:00

会場：田園都筑教会

出席者：今城H・T、岡崎、岡田K・M、
久保、胡麻尻、鈴木K・S、辻Tsu、
福島、三木、ゲスト：高松 (12+1)

◇毎年2月は“TOF”と“ピンクシャツデー”を覚えた事務例会としており、全員揃ってピンクを身に着けます。またTOFを覚え、通常の「豪勢」な会食に変え「豚汁・おにぎり」での会食が恒例となっています。

1. 開会点鐘、会長挨拶 岡田会長

2. 報告

・2/2 (土) 感謝の集い(横浜市社会福祉協議会)：ラポールにて、今城T、辻Tsuが出席し、つづきクラブのCS活動「在宅障がい者の福祉」で感謝状と記念品を頂く。

後日、すぱーんにて食事会(お好み焼き)をする予定。

・2018年度横浜YMCA会員大会：2/11(月)10:00～14:00湘南とつかYMCA
参加者：今城H・T、岡田K・M、久保、鈴木K・S、辻Tsu、山中、山添

3. 協議・確認事項

(1) 湘南・沖縄部次期(2019.7～2020.6)地域奉仕事業主査の依頼がつづきクラブにきており、クラブのCS担当(経験者)の中から人選し早急に回答する。

(2) 都筑区ふれあい助成金の申請：YOU&Iコンサートを対象に毎年申請している。31年度分の説明会に会長出席の予定。

(3) 「平和七夕」の折鶴：2019アジア太平洋地域大会(7/19～7/21)の吹き流しに使用する。4/9事務例会までにみんなで作成し4/30までに仙台YMCAへ送る。

(4) つるみワイズメンズクラブ設立総会：3/17(日)14:00～16:30 会費2千円 鶴見中央つるみケアプラザ 参加予定者：今城H・T、岡崎、岡田K・M、久保、鈴木K・S、辻Tsu、三木

4. 今後の予定

・2/16(土)～2/17(日) 沖縄2クラブ

部長公式訪問(鈴木S参加予定)

・2/16(土)4部合同EMCシンポジウム(辻Tsu参加予定)

・2/20(水)TKBは岡崎宅で毎月の東日本被災地支援のカードづくりをする。

・2/22(金)本例会(18:00～本例会・横浜北YMCA交流会 菊名敦煌にて)

・3/9(土)～3/10(日)次期会長研修会(今城T・H、鈴木S、辻Tsu出席予定)

・3/11(月)横浜踊場地区センター感謝礼拝・茶話会(岡田K出席予定)

・3/17(日)つるみワイズメンズクラブ設立総会 14:00～

・3/20(水)POPYの会がある。

・3/22(金)本例会(卓話：加藤孝久氏 摩擦について)

・4/27(土)川越クラブ20周年記念例会(久保、辻Tsu出席予定)

5. 各担当よりPRと予定

・部EMC委員長(辻Tsu)：中期会員増強計画(3カ年)目標は1246名

・歌声広場(久保)：北YMCA運営委員長を退任するにつき、歌声広場の協力者であるつづきクラブと今後の運営について話し合いたい。

・みんなの夢カフェ：つづきクラブの事務例会の利用を、交通など利点もあり前向きに検討する。

・POPY(鈴木K)：第一水曜日は折り紙の日

・COCOの集い(今城H)：2/12(火)

認知症について
(岡田美和 記)



ピンクディを覚えてのピンクの装いと恒例のTOF トン汁とおにぎりの会食。

北Yだより



寒い日が続いていますが、Y M C Aに集まる子どもたちは本当に元気です。今回はサッカーとアウトドアキッズ（野外活動）の子どもたちの様子をご報告させていただきます。

北Y M C Aには現在200名近くの子もたちがサッカーを楽しんでいます。下は3歳の子もたちから小学6年生までの子どもたちが活動を行っています。小学3年生になると選抜クラスが生まれ、外部の大会にも参加していきます。2月11日には「横三ウインターカップ」に出場、準優勝を飾りました。近隣のサッカーチームがあつまりゲームを行いました。6年生にとっては最後の外部試合…楽しい時間を過ごすことができました。

アウトドアキッズ1月の活動は「日の出ハイク」でした。前日17:00に集合、北Y M C Aのスタジオで就寝、翌日3時起床、3時半にはY M C Aを出発し、みなとみらいまで歩きました。大栈橋で日の出を拝み、象の鼻パークで目いっぱい遊びました。先日、ある青少年団体の調査で日の出を見たことのない小学生が30%いる…という統計も出ているとか。子どもたちにとってなかなかできない経験だったのではないのでしょうか。

これからも子どもたちに多くの経験を提供できるよう、頑張っていきたいと思います。
(北Y館長 山中 奈子)



余談：本誌4頁に鈴木茂さんの報告を掲載した「横浜YMCA会員大会」でのこと、様々な展示の一つに「YMCA健康教育事業」のスタッフによる「歩行姿勢測定」があり、大会参加者興味津々で列をなして測定の順番を待つ光景が見られました。

合計何名の人たちが測定してもらったかは不明ですが、かなりの数の人たちであつたことは確かです。「速度年齢」、「バランス年齢」、「姿勢年齢」を6つの項目で評価し、そのすべてを加味した総合評価として「歩行年齢」が表示されます。今回、測定を受けた人の中で、「実年齢」マイナス「歩行年齢」の値が最も大きかった人は「18歳」、2番目が「17歳」、3番目が「15歳」でした。“歳の割には歩き方が若々しい”というわけですが、なんと、トップスリーは全員男性で、しかも全員ワイズでした。なんと誇らしい話ではありませんか！Y'sの“Y”はYoungの“Y”！と調子に乗っている編集子が第3位、クラブ最年長の鈴木茂ワイズが第2位だったのでから。チャンチャン！
(編集子)

2月のTKBお誕生カードは東北被災地のご高齢者やちびっ子たちに届けられました。



《編集後記》
▽気持ち空回りするばかりで、またまた発行日が守れなかったことに心よりお詫びいたします。早手回しに原稿のお願いをしておけばいいものを、と反省しきり・・・▽年末年始には様々な行事があり、その全てをご報告できなかったことが悔やまれますがご勘弁ください。そんな内の一つ、お正月3日の「箱根駅伝復路観戦会」です。確かに、当クラブの公式行事とは言えないかもしれませんが、既に三回目を数

え、参加者にとっては大切な新年初行事、ホストの久保さんご夫妻には感謝。今回は、「つるみワイズ」のチャーターメンバー予定者も参加し、駅伝そつちのけの楽しいひと時を過ごしました。▽本号が通常と異なり派手な出で立ちであることは読者の皆さんお気づきのことと思います。2月27日のピンクデーにちなんだカラリングとしました。読者の多くが、高齢者ということもありますが、目の保養と
(編集子)